

自然がはぐくむ、子どもの生きる力

草花や生き物の色・匂い・手触り、季節ごとの温かさ冷たさ、小枝や石を道具にしたごっこ遊び、でこぼこ道で転んで擦りむいた痛さ・・・。
身近な大人に見守られながら、子どもたちは、自然の中で身体を十分に使い、好奇心や創造力を刺激されながら様々なことを学んでいます。



県では、平成29年度から「ひろしま自然保育認証制度」をスタート。自然体験活動や地域資源を積極的に取り入れた保育の普及を図っています。

先生の声

自然保育を実施するにあたり、どこまで手助けするのか、どこまでなら子ども自身の行動に任せていいのか、子どもそれぞれの状況によって考えています。

利用者の声

偏食の多い子でしたが、野菜や米づくりを通して「自分が植えた」「自分が育てた」食べ物という意識が芽生え、好き嫌いが減りました。

CHECK 自然保育とは何か知りたい
自然保育に積極的な園・所等を知りたい



全ての子どもたちの「主体的な学び」を実現します!!

これからの変化の激しい社会を生きるために必要な力を育てるため、令和2年度から「新しい学習指導要領」が小学校から順次スタートします。広島県では、これに先駆けて、子どもたちがこれからの社会で活躍するために必要な力を「主体的な学び」を通して育成する「学びの変革」に取り組んでいます。

子どもたちのワクワクを引き出す授業を実践中!

次のような人材の育成を目指します

自分の言葉で、自分自身や広島・日本のことを語ることのできる自立した人材

多様性を受け入れ、異文化の人々とコミュニケーションができる人材

様々な人々と協働して失敗を恐れず挑戦し、新たな価値を創造できる人材

そこで、広島県では次の取り組みを推進しています

課題発見・解決学習

これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指し、「主体的な学び」を促進するため、総合的な学習や各教科の授業で「課題発見・解決学習」を実施します。

異文化間協働活動

これからの社会で活躍するためのベースとなるグローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の育成に向け、小学校段階から系統的な「異文化間協働活動」を推進します。

小学生のころ



中学生のころ



基本的な生活習慣は、成長の土台

子どもたちが健やかに成長していくためには、運動、食事、睡眠などを適切にとることが大切であり、基本的な生活習慣づくりを推進しています。平成30年度にスタートした、朝ごはん推進モデル事業では、企業から無償で頂いた食材を、地域のボランティアの方が子どもたちに提供。毎回、朝から子どもたちの笑顔いっぱい、元気な一日がスタートしています!

CHECK 朝ごはん推進モデル事業情報



子どもは地域の宝
地域活性化にもつながります。

あじな東っ子モーニングひろば
ボランティア 関口 禮伸 さん



放課後等の子どもの居場所で

学齢期以降の、地域の居場所の充実に向けて

親が昼間いない小学生が過ごす放課後児童クラブや、地域の方の参画を得て学習や交流等を行う放課後子供教室、ボランティアによる学習支援など、多様な居場所が確保され、充実が図られるよう、検討・推進します。



東広島市：龍王第1いきいき子どもクラブ

放課後児童支援員の声

子どもたちの安全を第1に考え、子ども、保護者、そして支援員が共に成長していけるよう、しっかりと耳を傾け、支援していきます!

こんな授業をしています!

庄原市立庄原中学校

ふるさと庄原の「誇りと貢献」について考え、話し合い、自ら行動することに挑戦しています。修学旅行では、海外の方へ庄原の良さを発信しています。生徒がアイデアを出し合い、ふるさと庄原を発信するリーフレットを作成したり、ALT にプレゼンテーションを行い、英語でより良く伝える方法を考えました。



障害のある生徒の自信と目的意識を高め、自立を助ける

広島県特別支援学校高等部では、知的障害のある生徒の就労を支援するため、学校や関係企業団体と連携して広島県独自で開発した「技能検定」を実施しています。



高校生のころ



学校で

学校になじめない児童生徒のための居場所づくり

スペシャルサポートルーム(SSR)は、不登校をはじめ、集団学習になじめない児童生徒が、学校とのつながりを途切れないようにするため、校内に居場所を作る取組です。一人一人の状況に応じた学習支援などによって、児童生徒の学校や社会とのつながりを確保。個別の状況に応じた学習や生活の支援の在り方について調査研究を進め、県全体へと普及させていきます。

担当者の声

子どもたちが成長する力を実感しています。

子どもたちは自分で日々の学習内容と目標を決めて、自主的に学んでいます。私たちの役割は、子どもたちが社会で自立して生活できるように、コミュニケーション力を付け、自分で判断して行動できるよう手伝いをすることです。今まで通学できなかった子どもたちが、積極的に学び、元気を取り戻していく姿に接するとうれいしですね。



呉市立吉浦中学校
教育相談コーディネーター
吉本 かをり 先生

地域で

子どもと子育てにやさしいまちづくり、進めます

広さや遮音性等がある子育てしやすいマンションの供給、ベビーカーでも利用しやすい低床バスの導入、都市公園のトイレ等のバリアフリー化、子どもの受動喫煙防止対策などをさらに推進します。

CHECK

子育てしやすい「子育てスマイルマンション」を知りたい



このマークが目印!



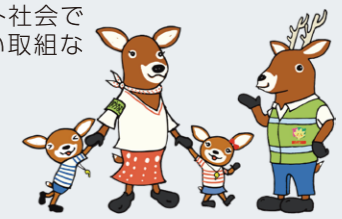
子どもが災害や犯罪等の危険から身を守るために

想定外の自然災害が頻発する昨今、子どもが災害時に自ら考えて行動できる訓練や、ネット社会で子どもが犯罪にあわない取組などをさらに推進します。

CHECK 防災のこと



広島県防災キャラクター「タスケ三兄弟」



「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動マスコットキャラクター「モシカ」

CHECK

防犯のこと

